

令和元年5月22日
埼玉県農林部

5月20日気象庁発表の異常天候早期警戒情報によると、5月25日からの1週間は気温が平年よりかなり高く、2週目にかけても気温の高い状態が続く見込みです。今後の気象情報に留意し、農作物生育ステージに合わせた適切な管理に努めましょう。

水稻育苗

- 1 播種やほ場準備等の作業計画を見直して適期作業に努める。浸種時は水温上昇による芽の伸び過ぎに注意する。
- 2 換気や被覆資材で温度を調節する。特に育苗初期は床土の温度が30℃を越えないようにする。

園芸作物共通

- 1 大型ハウスは屋根やカーテンに遮光資材を展張するほか、細霧冷房や換気扇の利用、側面・妻面開放等により、施設内の温度上昇の抑制及び通風改善を図る。
- 2 雨除けハウス等簡易施設は、寒冷紗や不織布で遮光し、葉焼けなどの高温障害を防止する。
- 3 かん水は、立地条件や品目、生育状態等を十分考慮し、早朝又は夕方に実施する。
- 4 ハダニ類・アザミウマ類等、高温条件下で発生しやすい病害虫の早期発見に努め、的確な防除を行う。

果樹

- 1 カイガラムシ類、ハダニ類等、主要害虫の初期発生に注意し、発生を確認した場合は防除を実施する。

切花

- 1 朝・夕の気温の低い時間に採花し、常温で長時間放置しない。
- 2 エチレンによる劣化を防ぐため、前処理剤を使用し品質の維持に努める。

茶

- 1 チャノミドリヒメヨコバイ、ハダニ類等、高温条件下で発生しやすい病害虫の早期発見に努め、的確な防除を行う。

畜産

- 1 畜舎は屋根・壁面に遮光・遮熱資材を展張するとともに、屋根散水や換気扇を利用し、施設内の温度上昇の抑制及び通風改善を図る。
- 2 畜体への送風や散水・散霧により、家畜の体感温度低下に努める。

日中等高温時の農作業は避け、作業中はこまかな水分補給と休憩を心がけましょう。

詳しくは、農林振興センター農業支援部に御相談ください。

農作業中の熱中症に ご注意ください！



埼玉県のマスコット
「コバトン&さいたまっち」



◇注意◇

- ・暑さに体が慣れていない梅雨明け直後
- ・暑さの感じ方は人により異なる
- ・特に体温調節の難しい高齢の方

熱中症予防のポイント

作業前

- ◆ 通気性の良い服装と帽子の着用
冷却グッズ(濡らした・保冷剤をくるんだタオル※)の活用
- ◆ 家族に作業場所・帰宅時刻を伝える

作業中

- ◆ 「のどが渴く前」に水分補給
- ◆ こまめな休憩・塩分補給
- ◆ ハウスや畜舎での作業時は換気を
側窓や天窓を開放して風通しを良く



※タオルを首に巻いて機械作業を行う際は、作業機の回転部分に巻き込まれないよう、タオルの端を服の中へ入れ込むなどの対策をしましょう。